# 「働き方改革」等に関する企業等訪問（令和元年12月18日）

富山労働局では、県内企業の働き方改革の推進の一環として、企業を訪問し、先進事例・好事例を収集し情報発信をしています。

令和元年１２月１８日、富山労働局長、富山労働局雇用環境・均等室長ほか計３名で、下記の法人を訪問しました。

## 企業情報

### リードケミカル株式会社

代表者：代表取締役社長
中井　環
所在地：富山市神通本町
１丁目1番19号
従業員数：４７３名

事業内容：医薬品製造

## トップのメッセージ

弊社は経皮吸収型製剤のスペシャリティファーマとして、「高品質で安全な医薬品を世界の皆様にお届けし、人々の健やかで豊かな生活に貢献したい」という理念のもと事業を行っています。この理念を実現するため、社員が充実した人生を送り万全の状態で能力をいかんなく発揮できる職場環境をつくることが、弊社の高品質で安全な医薬品をお使いいただく皆様の満足度の向上、ひいては企業の利益向上にもつながると考えています。

また、弊社は市場のグローバル化を積極的に推し進めており、人材育成として語学研修や通訳研修を会社負担で実施するなど、社員のスキルアップにも力を入れています。

今後は新研究所の建設や工場のリニューアルなど、ハード面においても働きやすい環境を整備し、更なる社員のモチベーション向上に努めてまいります。

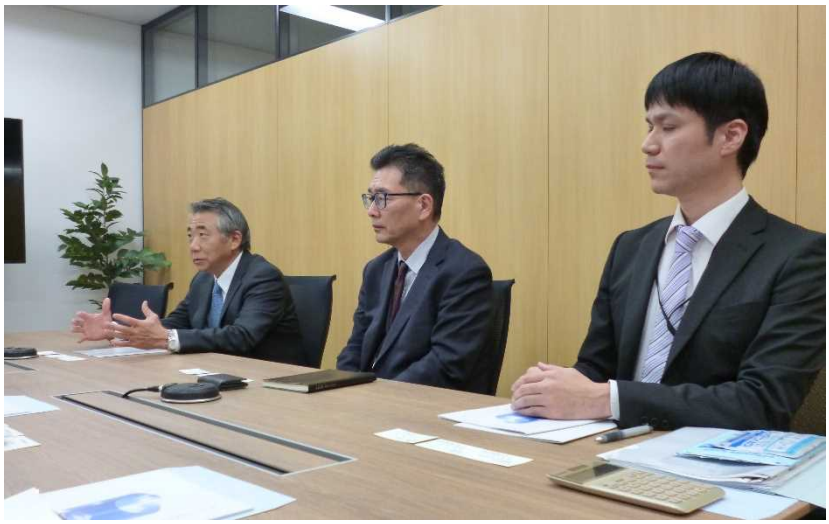
【中井代表取締役社長】

## 働き方改革等に関する取組

### 1　全体的な考え方

昭和44年６月設立当初は、絆創膏を製造し、現在は自社開発の経皮吸収の貼り薬（消炎鎮痛）を主力としている。更に経皮吸収の技術開発に努めて、喘息や認知症の治療分野に挑戦中の富山でも数少ない新薬メーカーである。

安価な後発薬（ジェネリック医薬品）の台頭による国内の販売単価下落の逆風にさらされながらも、自社の立ち位置は最先端の経皮吸収剤であると認識して、海外（欧米・アジア・アフリカ）にも販売している。社員間の情報共有や長期的視点での研修体系の整備を図り、無理・無駄を省く堅実経営を行っている。



取組について説明される
中井代表取締役社長
（写真左から1番目）

### 2　取組内容

ライフステージに応じた働き方を目指して、仕事と子育て両立支援の積極的な取組など職場内の話し合いを進めている。

（１）業務の見直し・省力化による所定外労働時間の削減と情報の活用

業務の棚卸を行い、社員の負担軽減・業務の省力化に取り組む他、所定外労働時間の削減を図った。また、社員の所定外労働時間が月間40時間を超えた際、各拠点の就業管理担当者へアラートがかかるシステムの構築により、所属長に情報提供し、所定外労働時間の削減に取り組んだ。

（２）人材確保を進め年次有給休暇取得率の向上

長年に渡り、新卒採用に努め人員増加を続け、長期的な人材育成方針により、年次有給休暇（以下：「年休」と言う）取得率の向上に取り組んだ。並行してスキルの高い人材の中途採用（Ｕターン等）も行った。

## 働き方改革等に関する取組②

（３）育児休業を取得しやすい雰囲気づくり

育児休業（以下：「育休」と言う）を取得しやすい雰囲気づくりに努めた。育休取得社員の代替要員を確保し、社員の希望に応じて子育て中の夜勤免除や、時間単位で最大半日まで時間を短縮し勤務できる短時間勤務制度を設けている（男性の育休取得実績有り）。

（４）資格取得支援と長期育成キャリアアップ

社員の研修参加を積極的に推進し、長期的視点でキャリアアップを図っている。

説明を聞く
佐藤労働局長（写真左奥）
辺田雇用環境・均等室長（写真左手前）

### 3　取組の成果

（１）所定外労働時間の大幅減少

所定外労働時間の多い部署を中心に、所属長が部下の業務量や技能を再確認し、教育に重きをおくことで業務量の平準化を図ると同時に、システムや設備の導入により省力化を行った。これに加え、各所属長による時間管理を徹底し、所定外労働時間は月平均２時間程度に大幅減少した。

（２）年休取得率の大幅向上（70%超え）

数年前までの年休取得率は５０%前後であったが、取得増加に向け、所属長が率先して年休を取得するとともに、部下にも取得を呼び掛けるなど、年休の取りやすい職場環境整備を継続し、近年では70%を超えている（年間所定休日は120日）。